

<認知症対応型共同生活介護用>

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 12月21日

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 〃0175000538 |
| 法人名 | 社会福祉法人 北見有愛会 |
| 事業所名 | グループホーム ゆう&あい 向陽 |
| 所在地 | 北見市美芳町1丁目8番4号 (電話) 0157-23-4141 |
| 評価機関名 | 有限会社 NAVIRE |
| 所在地 | 北見市本町5丁目2-38 |
| 訪問調査日 | 平成21年12月18日 |

【情報提供票より】(21年11月20日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|---------------------------|
| 開設年月日 | 平成 15 年 4 月 7 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 14 人 | 常勤 | 13 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 5.6 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|------------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り | | |
| | 4 階建ての | 2 階 ~ | 3 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------|----------------|-----------------|---|
| 家賃(平均月額) | 18,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000~26,000 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 1,300 円 | |

(4) 利用者の概要(11月20日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|-------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 16 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 4 名 | 要介護4 | 5 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 85.3 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------------------------|
| 協力医療機関名 | 為山堂内科医院 ・ 塩田内科医院 ・ 玉越病院 ・ 若原歯科医院 |
|---------|----------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームゆう&あい向陽は、基は社員寮として使用していた建物を増改築した鉄筋コンクリート造り4階建の2階と3階部分がグループホームとなっています。隣接して系列のケアハウスとデイサービスがあり、デイサービスに通う利用者もいます。道路向かいには児童公園があり、ホームの窓からは見晴らしがとても良く、暖かい日差しが差し込みます。系列の夏祭りには、地域の方・家族も多数参加し、子供よさこいや歌謡ショー等の余興や焼鳥・ビール・焼きそば・ザンギ・ポテト・子供縁日コーナーとお祭りを楽しんでいます。ホームの行事(花見ドライブ・緑のセンター見学等)には、町内会の方たちがボランティアとして来て下さり交流を図っています。職員は、ホームの理念であります『絆』を大切に、その人がその人らしく笑顔のあふれる生活を支援出来るよう常日頃から心がけています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | <p>前回評価で改善項目はありませんでした。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員は評価のねらいや意義について話し合いが持たれています。自己評価はすべての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会とし取り組んでいます。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、町内会役員、利用者代表、家族、包括支援センター職員、系列他グループホーム職員、ホーム管理者等で構成され、平成20年11月・平成21年8月・10月・12月に開催されています。行事・事業報告、外部評価・自己評価の実施、防災訓練、質疑応答など話し合われています。議事録は作成され配付されています。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関の見やすい場所に苦情窓口の連絡先を提示し、意見箱を設置しています。毎月請求書と共に職員異動のお知らせや外部評価・運営推進会議の開催等の手紙を送っています。ホームの様子を綴った『こよう便り』や、母体発行の『ゆうあいだより』、利用者の様子を書いた手書きの手紙も送付しています。家族訪問時に、金銭出納簿と領収書を共に確認して頂き、家族の意見要望を聞き取るよう努めています。</p> |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目④ | <p>町内会に加入し、総会、清掃活動等に参加しています。ホーム主催の焼肉、クリスマス会、お花見ドライブ等に地域の方がボランティアとして参加してくれます。系列の合同夏祭りにも利用者、家族、地域の方が多数参加し子供よさこいや歌謡ショーなどのボランティアとの交流もあります。専門学校生の実習の受入も行っています。</p> |

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 運営理念とは別に、ホーム独自の理念として「絆」をテーマに、その人らしく喜怒哀楽を支え地域に根ざし関わりを大切にすることに理念を置いて馴染みの関係を築くことに取り組んでいます。 | | |
| | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念である絆をリビングやエレベーター・玄関に掲示し、ユニット会議や系列のグループホーム部会で再確認をし、日々のケアに振り返り取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し総会に出席や道路清掃に参加、町内会の方たちがボランティアとして、焼肉会などのホームの行事と一緒に参加され、交流がされています。専門学校から実習生の受入も行なっています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ユニットごとに職員とリーダーが、項目を理解出来る様説明しながら自己評価を取り組み、管理者が取りまとめ、サービスの質の向上に繋げています。外部評価についても今後会議で話し合い改善する姿勢が見られます。 | | |
| | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 家族、町内会代表、包括支援センター、管理者、職員がメンバーで、下半期より概ね2ヶ月ごとに開催されています。ホーム行事や状況報告、質問や意見など話し合わせ、議事録を作成し家族や出席者に配布されています。 | ○ | 上半期が未開催でしたが、参加者のスケジュールを調整し、定期的開催する工夫と、地域との関わりを大事に、理解されることを望みます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|--|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>北見市介護福祉課や保健所、網走支庁など、相談や報告がされ、研修などの情報も提供されサービスの質の向上に繋がっています。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>家族の面会時に利用者の日々の様子や金銭出納簿の確認をしています。遠方の家族には受診結果など電話で随時報告をしています。季刊誌として「こうよう便り」と利用者ごとの手紙をを発行し家族に郵送や手渡しをすることで、意見要望を言える機会を増やし、あればミーティングで話し合い家族に報告をしています。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>玄関に苦情相談窓口の掲示やマニュアルを配置して、家族が電話や面会時に相談事を言ってもらえる関係を大切に考え、取り組みがされています。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>系列内の異動はありますが、離職は少なく管理者とユニットリーダーや職員は各ユニットごとに行き来して、利用者馴染みの関係に努めています。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修の案内を掲示し勤務ローテーションを調整しながら、ユニットリーダーや職員が参加しています。研修結果を報告書にまとめミーティング時に報告・閲覧し職員全員が把握しています。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>系列のグループホームが集まり定期的に勉強会を開催し、管理者や職員が取り組み情報交換や交流を行なっています。地域包括支援センター主催の研修に参加、他の事業所と意見交換や見学をする関係があります。</p> | ○ | <p>他の事業所との交流を増やすことで、情報や人的交流の活発化に繋がり、更なるサービスの質の向上に取り組むことを期待します。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者の今迄の暮らしや趣向などを家族から聞き取り、見学を通して利用者や職員とのコミュニケーションを図り馴染めるよう配慮されています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 面談を行なうことにより利用者の喜怒哀楽を理解し、出来ることを見守りつつ、調理の下ごしらえや掃除、花の世話や畑仕事を職員と一緒にしながら学んだり信頼関係を築く工夫をしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常会話から利用者の希望や家族の意向を把握し、生きがいや満足を与える工夫を、ミーティングで職員同士話し合い支援に努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎月3名モニタリングを行い、サービス担当者会議では介護支援専門員がリーダーになって家族・管理者・職員が話し合い、意見を反映したケアプランに努めています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月ごとにケアプランの見直しを行なっていますが、状況に変化があった場合、利用者・家族と共に話し合い新しいケアプランの作成を行なっています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院への受診・送迎支援、散歩や美容院、ドライブなどの外出支援、買い物の支援も行なっています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者のかかりつけ医や協力医療機関への受診に職員が同行し、受診後家族に報告する支援をしています。急変があった場合など相談できる関係が築かれています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携体制同意書を作成して、見取りに対する説明を利用者及び家族と利用開始時に話し合い、かかりつけ医を含め、状況の変化に応じ方針を共有しています。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 言葉をかける時などゆつくりと聞き取りやすく声かけをするように心掛け、個人情報の保護についてミーティング時に話し合い、グループホーム日誌の記入はリビング兼食堂で利用者を見守りながら行い、目に付かない場所に保管しています。利用者・家族から個人情報の同意書も取り交わしています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の生活ペースに合わせた支援を行う様心掛けています。また一人ひとりがその日にしたい事を充分把握して支援をしています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ユニットごとに献立を作成し、一緒に楽しく食事が摂れる様に心掛けています。嚥下困難な場合はきざみ食やお粥にするなど状態に合わせて工夫をしています。食事の後片付も利用者の役割を持ってもらう支援をしています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 時間帯は決まっていますが入浴日は自由で、利用者の希望やタイミングによりいつでも入れる支援を行っています。入浴拒否の利用者については意思を尊重しつつ対応する支援をしています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 得意分野で力を発揮出来る様、食事の下ごしらえや後片付・花や畑の世話、掃除まで役割を持って支援をしています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 花や畑の世話は勿論の事、散歩や買い物、地方の公園に花見での外出支援、美容室へ送迎する支援をしています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は防犯上夜間施錠をしますが、それ以外は自由に入出でき見守りを強化し、鍵を掛けない支援に取り組んでいます。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防計画を作成して、年1回避難及び消火・通報訓練を夜間想定で行ない、緊急連絡網の連絡訓練も実施しています。 | ○ | 夏と冬、日中と夜間を想定して年2回避難訓練の継続実施と、近隣住民の協力を得る為、消火訓練の参加や運営推進会議で住民の協力方法を話し合い理解をしてもらいより良い関係を深めることを期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎月の体重測定や毎日バイタルを記録、水分摂取量も概ね1000～1500ccを目安に水分や食事の摂取量の記録をして職員間で共有しています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に合わせた花やペットの亀を置き、壁に手作りの季節ごとの作品を張り、季節感を感じる工夫を取入れています。不快な音や光がない配慮もされています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が使用していた布団・タンス・仏壇・テレビ・人形・写真等を持ち込み自分らしい空間で生活をしています。 | | |